

# おすすめ新着本

『トルコから世界を見る

ちくまQ ブックス』

内藤 正典／著 筑摩書房 310



『化け之島初恋さがし三つ巴 I』

石川 宏千花／著

講談社 イシ



『ごはん食べにおいでよ』

小手鞠 るい／作

講談社 コテ



『普通のノウル』

イ ヒヨン／著 山岸 由佳／訳

評論社 929イ



『ルビーが詰まった脚』

ジョーン・エイキン／著

三辺 律子／訳 東京創元社 933エ



## Young Woods について

若い木々のような皆さんに向けて、  
その枝や葉が広がるための栄養と  
なるような本を紹介していきます。  
図書館の入り口で、紹介している本を  
展示しています。ぜひご覧ください。



[https://lib-www.  
smt.city.sendai.jp](https://lib-www.smt.city.sendai.jp)



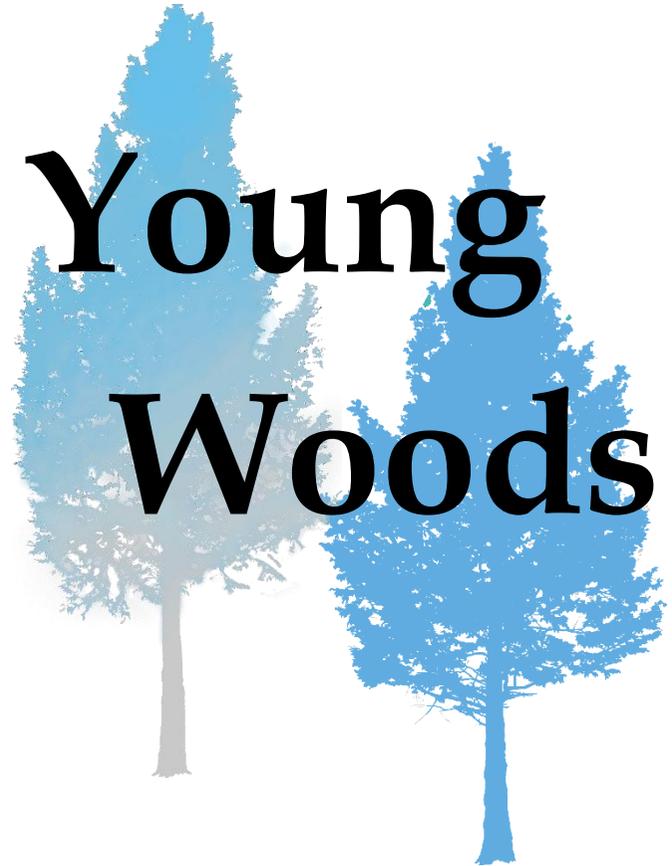
Twitter:  
[@sendai\\_lib](https://twitter.com/sendai_lib)

仙台市若林図書館 仙台市若林区南小泉 1-1-1

Tel 022-282-1175

若林図書館 YA 通信 No.7

冬号(2022.12)



YAとは

Young Adult (若いおとな) の略。

主に 13 歳から 18 歳の方を指す言葉です。

若林図書館には YA コーナーがあり、

中高生世代に向けた本を集めています。

『地球で暮らすきみたちに  
知ってほしい50のこと』

ラース・ヘンリック・オーゴード／著  
枇谷 玲子／訳 晶文社 400

50の質問に答えた本。「この世で一番速いものは？」といった科学的な質問から、「人生の意味は？」という哲学的な問いまで、いろいろな疑問に答えています。科学と哲学が深く関係していることがわかると思います。

『はじめての哲学 岩波ジュニア新書』

藤田 正勝／著 岩波書店 100

人間が古代から考え続けてきた哲学的な問いを7つの章に分けて解説しています。さまざまな考え方を提示しながら著者自身の考えを述べていますが、答えは出さず、読者に問いを投げかけています。

テーマ

## 哲学ってなんだろう

人はなんのために生きるんだろう？  
正しいことってなんだろう？ そんな疑問をとことん考えた人が世界にはたくさんいます。深く考えることのおもしろさに触れてみませんか。

『自分で考えよう』

ペーテル・エクベリ／作  
スヴェン・ノードクヴィスト／絵 晶文社 130エ

哲学とはなにか、ということが自然とわかってくる本。哲学者たちの考えを解説しながら、自分で考えることを教えてくれます。挿絵が豊富で、理解しやすくなっています。

『若い読者のための哲学史』

ナイジェル・ウォーバートン／著  
月沢 李歌子／訳 すばる舎 150

古代の哲学者ソクラテスから始まり、現代までの主要な哲学者たちの思想がまとめられています。1文・1章が短く、簡潔に書かれています。西洋哲学の魅力が詰まった本です。

『言葉を生きる ちくまQブックス』

池田 晶子／著 筑摩書房 100

日常のなかで疑問に思ったことや考えたことを語ったエッセイ。読むだけでおもしろいですが、確かにそうだな、どうしてなんだろう、と自分でも考えてみたくなります。1つのテーマが短く、読みやすいです。